

令和5年 第1回

区づくり推進横浜市会議員会議

会 議 資 料



令和5年2月14日

神 奈 川 区

目 次

	ページ
1 令和5年度 神奈川区編成予算案 総括	1
2 令和5年度 神奈川区自主企画事業 予算案について	2
3 令和5年度 神奈川区自主企画事業（案）	3

令和5年度 神奈川区編成予算案 総括

1 区分別総括表

(単位：千円)

	5年度予算額	4年度予算額	差 引
(1) 自主企画事業費	106,181	106,339	△ 158
(2) 統合事務事業費	48,499	48,513	△ 14
統合事務費 ※1	28,053	28,053	0
統合事業費 ※2	20,446	20,460	△ 14
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	604,877	584,197	20,680
合 計	759,557	739,049	20,508

※1…局事業に係る事務費(人件費除く)

※2…自主企画事業に含まれていた、18区共通で実施している事業の一部を分離して計上

2 内 訳

(1) 自主企画事業費 106,181千円 (4年度106,339千円) 差引 △158千円

(単位：千円)

区 分	5年度予算額	4年度予算額	差 引	増減理由
3つの施策				
I 安全・安心なまちづくり	32,908	33,466	△ 558	神奈川区防犯対策事業(電話録音機無償貸与事業終了)の減等
II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	24,610	26,746	△ 2,136	一部事業を施策IIからIIIへ移行したことによる減等
III 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり	36,959	35,133	1,826	一部事業を施策IIからIIIへ移行したことによる増、まちづくり支援事業(区民意識調査等)の増等
IV 信頼される区役所づくり	11,704	10,994	710	チーム神奈川おもてなし事業(来庁者の利便性向上事業)の増
合 計	106,181	106,339	△ 158	(26事業)

(2) 統合事務事業費 48,499千円 (4年度 48,513千円) 差引 △14千円

(単位：千円)

区 分	5年度予算額	4年度予算額	差 引
統合事務費	28,053	28,053	0
統合事業費 (8事業)	20,446	20,460	△ 14
合 計	48,499	48,513	△ 14

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 604,877千円 (4年度 584,197千円) 差引 20,680千円

(単位：千円)

区 分	5年度予算額	4年度予算額	差 引
1 区庁舎	78,733	78,936	△ 203
2 土木事務所	8,985	8,535	450
3 公会堂	36,962	35,499	1,463
4 地区センター、集会所、スポーツ会館	205,139	196,728	8,411
5 ログハウス	8,627	8,201	426
6 区民文化センター	119,704	115,371	4,333
7 老人福祉センター	26,582	25,446	1,136
8 コミュニティハウス	55,221	54,252	969
9 スポーツセンター	55,979	51,484	4,495
10 広場・遊び場	1,346	1,346	0
11 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,599	8,399	△ 800
合 計	604,877	584,197	20,680

令和5年度 神奈川区自主企画事業 予算案について

笑顔でつながる「神奈川区」

～地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます～

高齢化や子育て世代の流入などによる地域社会の変化を見据え、デジタル技術の活用や協働の視点を持って、課題解決に取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症と共存する社会の中で、地域活動の再開から見えてきた新たな課題への対応や新しい活動スタイルへの転換等、地域の実情を柔軟に捉えて、地域ニーズに丁寧に対応します。

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：106,181千円

目標達成に向けた3つの施策

I 安全・安心なまちづくり

32,908千円

大地震や風水害時の迅速な避難行動や被害軽減につながる自助の取組を促すため、SNSの活用や民間事業者と連携した啓発を新たに行い、防災に対する区民の関心を高めます。また、地域の防災活動を支援する「共助の取組」支援セミナーや福祉避難所での訓練等を実施し、共助・公助の取組を進めます。

特殊詐欺等の被害防止や防犯意識の向上、交通安全の啓発に、地域や関係機関と連携して取り組みます。

《重点事業》地域防災力向上事業

II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

24,610千円

地域で安心して子育てできるように、親と子のたまり場「すくすくかめっ子」の運営支援や、アウトリーチ型の相談・訪問による児童虐待防止と養育者の孤立防止等、子育て世帯に寄り添った切れ目のない支援を行います。また、高齢者支援として、フレイル（高齢者の虚弱）予防や認知症への理解促進、地域ケアシステムの構築を進めます。

障害児・者に関係する機関の連携体制づくりや地域作業所等の活動を支援し、地域で支えあう見守り活動を推進します。

《重点事業》介護予防・高齢者支援事業、かながわ子育てかめっこ支援事業、かながわ安心子育て支援事業

III 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり

36,959千円

地域と連携して課題解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため、人材を育て、地域活動を支援します。さらに、誰もが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせるまちを目指し、「かながわ支え愛プラン」（第4期 神奈川区地域福祉保健計画）を推進します。

歴史資産などの区の魅力資源を活用したイベントの実施や、商店街振興、地産地消の取組などを通じた区の魅力発信により、地域への関心や愛着を深め、幅広い世代の区民同士のつながりを育みます。また、地球温暖化対策やまちの美化・3R等に取り組み、区民の環境行動への意識を向上させるとともにまちの魅力を高めます。

国際園芸博覧会の開催に向け、緑化推進や公園愛護会との連携等により機運を醸成します。

《重点事業》地域力アップ推進事業、かながわ脱炭素化推進事業、地域福祉保健活動推進・支援事業

行政運営

IV 信頼される区役所づくり

11,704千円

区役所職員の一層のスキルアップにより行政サービスを正確・迅速に実施します。また、来庁者が安心かつ快適に区役所を利用できるよう環境整備を進めます。

チーム神奈川おもてなし向上事業

～令和5年度 神奈川区自主企画事業（案）～

I 安全・安心なまちづくり 32,908千円（4年度33,466千円）

- 1 地域防災力向上事業 重点
- 2 神奈川区防犯対策事業
- 3 交通安全対策事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ② 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ③ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ④ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）
- ⑤ 横浜市内広域シェアサイクル事業社会実験（道路局事業）
- ⑥ 菅田の丘小学校及び二谷小学校の建替え（教育委員会事務局事業）
- ⑦ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）
- ⑧ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）
- ⑨ 道路維持修繕事業（道路局区配）
- ⑩ 道路改良事業（道路局区配）
- ⑪ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）
- ⑫ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

1 地域防災力向上事業

23,923 千円（4年度 23,428 千円）

☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課

防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進します。また、防災への関心を高めるため、SNS等を活用し区民に対する啓発を進めます。地域、医療機関、民間事業者等と連携して地域防災力の向上を図ります。

(1) 地域防災力の強化

ア 自助の推進

(ア) 窓ガラス飛散防止普及啓発事業

大地震、風水害時に窓ガラスの破損による負傷を防ぎ、自宅で避難生活を送ることができるよう、日本ガラスフィルム工事業協会と連携し、ガラスの飛散防止フィルム設置を促進（30件）

(イ) 乳幼児子育て世代向け家具転倒防止普及啓発事業

出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布

(ウ) 防災アドバイザーによる相談会（年2回）

(エ) SNS等を活用した防災情報の発信

(オ) 「自分でつくるmy防災マップ」配布等

イ 共助の推進

(ア) 「共助の取組」支援セミナー（7月）

自治会・町内会等の防災担当者を対象に、防災の専門家を招いたセミナーを実施

(イ) 地域防災拠点の機能強化

運営委員向け防災講座及び運営マニュアルの改訂支援、地域防災拠点の環境整備（備蓄庫の修繕等）、地域防災拠点だよりの発行

(ウ) 共助推進事業

町の防災組織が実施する防災活動や防災資機材購入にかかる費用を補助（40団体）

ウ 次世代への防災教育

中学生向け防災ガイドを活用した区内公立、私立中学校の防災教育の支援

エ 子育て世代の防災意識向上

区PTA連絡協議会と協力し、子育て世代向け防災ガイドを作成・配布（2月）

オ 新子安・子安通1丁目・入江地区及び神奈川区臨海部防災協議会（10月）



窓ガラス飛散防止フィルム
施工作業



運営委員向け防災講座



中学生向け防災ガイド

(2) 区役所災害対応力の強化

ア 職員向け訓練・研修

- (ア) 転入職員向け研修、即応班研修（4月）
- (イ) 風水害避難場所運営訓練（7月）
- (ウ) 地域防災拠点参加等研修（6月）
- (エ) 地域防災拠点動員者向け研修（8月）
- (オ) 庁舎避難誘導訓練、区本部初動対応訓練（9月）
- (カ) 区本部各班訓練

イ 区本部運営に必要な物資の整備

ウ 関係機関との連携

神奈川県内鉄道事業者等による災害対策検討会議（7月）

(3) 医療初動体制の整備

ア 災害医療に係る機関や団体との連携

神奈川県災害医療連絡会議（10月、12月）

イ 災害医療の訓練や区民啓発

- (ア) 区災害医療訓練（11月）
- (イ) 医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練（8月、10月、12月、2月）
- (ウ) 地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発
- (エ) 災害医療のぼり旗掲出訓練（11月）
- (オ) 他区との通信訓練（鶴見区と合同開催）（年1回）
- (カ) 広報よこはま区版でYナース募集（10月）



区災害医療訓練

(4) 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への説明を行い、新規協定締結の促進を図ります。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援します。

ア 新規協定締結の促進 《令和4年12月末現在 名簿提供団体：109団体》

- (ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）
- (イ) 災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会（8月）

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成

(5) 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザなど）の運営体制の強化を図るべく、避難所協定締結施設を対象とした連絡会・研修会等を行います。

《令和4年12月末現在 福祉避難所協定締結数：21施設》

- ア 福祉避難所協定締結施設向け連絡会（11月、2月）
- イ 福祉避難所協定締結施設向け研修会（12月）
- ウ 福祉避難所情報共有システムを活用した開設情報等受伝達訓練（11月、2月）
- エ 福祉避難所の備蓄品等の整備（エアベッド他必要な備蓄品を12月までに配付）
- オ HUGカードの作成と訓練の実施（3月）【新規】

(6) 災害時のペット対策

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援

- (ア) 地域防災拠点運営委員会総会及び運営委員会向け研修にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
- (イ) 「災害時のペット対策～ペットとの同行避難対応ガイドライン～」を基に、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策の推進を支援
- (ウ) 具体的な対策の検討を進めている拠点数か所に対し、その地域のペットの飼い主の意識調査を行い、実際に飼育管理を行うことになる飼い主の考えを参考にするとともに、必要に応じ専門家のアドバイスを得ながら各拠点での一時飼育場所運営に係るルールづくり等を支援
- (エ) 防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施
- (オ) 専門家等による講演会の実施

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発

- (ア) 広報よこはま区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備等について周知
- (イ) 地域防災拠点や区民まつり等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施
- (ウ) 日ごろからの備えとして、「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」及び「神奈川区動物病院マップ」を区役所窓口等で配布



地域防災拠点でのパネル展示及びペット同行避難訓練

2 神奈川区防犯対策事業 4,168千円（4年度5,078千円）

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等関係機関と連携を密に図りながら、犯罪発生状況に応じた情報の提供及び啓発活動などの防犯対策を推進します。

(1) 住みよいまちづくり活動助成（21 地区連合町内会が行う防犯活動・青少年の健全育成・3R夢推進活動支援）

地域による安全で安心なまちづくり活動を推進するため、活動助成金を交付（7月～9月）

(2) 防犯活動啓発事業

- ア 特殊詐欺等防犯啓発情報のメール配信（通年）
- イ 広報よこはま区版等による防犯啓発（6月、8月、10月、12月、2月）
- ウ 地域での防犯活動に必要な物品（帽子・ベスト・のぼり旗等）の貸与
- エ 防犯キャンペーン（10月）
- オ 自治会町内会への防犯啓発チラシ配布
- カ その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発



特殊詐欺啓発のぼり旗



防犯パトロールベスト



防犯パトロール用帽子

3 交通安全対策事業 4,817千円（4年度4,960千円）

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等と連携し、交通事故発生件数の減少に向けた啓発を行います。また、路側帯のカラー化などの児童通学路の安全確保に必要な対策を、道路管理者である土木事務所と連携して行います。

区内駅周辺での放置自転車等の減少に向け、区内駅周辺の自転車等放置禁止区域内での地域による啓発活動のほか、委託監視員による啓発を行います。

(1) 自転車マナーアップ事業

自転車利用のマナーアップ啓発

(2) 自転車等放置防止推進協議会への助成

各禁止区域の協議会に対する活動費助成（4月～6月）

(3) 交通安全啓発事業

ア 交通安全啓発（4月～6月、11月）

希望する小・中学校や自治会町内会を対象に実施
（小学校19校、中学校1校、自治会町内会）

イ 交通安全チラシおよび啓発物品の配布

ウ 広報よこはま区版を活用した啓発
（4月、5月、7月、12月）



親子三代自転車教室



警察と連携した交通安全啓発キャンペーン



交通安全教室（中学校）

(4) 神奈川区交通安全対策協議会（事務局）

ア 神奈川区交通安全対策協議会開催（2月）

イ 交通安全功労者表彰（4月）

(5) 児童通学路整備事業

ア スクールゾーン対策協議会活動の支援

スクールゾーン対策協議会（7月～9月）

イ 通学路内の路面標示の補修



通学路 路面標示の補修

(6) 交通安全対策工事

路面標示・標識の設置、補修等

神奈川区内まちづくり関連予算

① 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備します。

令和5年度末のしゅん工を目指し、令和5年度は、引き続き、建築工事を進めます。

② 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めます。

令和4年度は、基盤整備や埋立工事を実施し、地区内の建築工事が始まりました。

令和5年度も、引き続き基盤整備や埋立工事を進めます。

③ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

地震火災による被害の軽減に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行っています。また、浦島町地区及び六角橋商店街地区において進める協働による防災まちづくりについて、今後も継続して取組を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進していきます。

④ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）

平成31年2月に「第2期横浜市空家等対策計画」を策定し、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不全な空家の防止・解消、④空家の跡地活用、の4つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和3年度は、「横浜市空家等に係る適切な管理、措置等に関する条例」の施行（8月1日）に伴い、更なる管理不全な空家の解消に向け、区局が連携し取組を強化しました。

令和4年度は、所有者調査委託等の従前の取組に加え、区が行う管理不全な空家等の初期対応の委託をモデル実施しました。

令和5年度は、本委託実施結果なども踏まえ、より効率的かつ有効な管理不全な空家等の解消に向けた検討を進めます。

⑤ 横浜市内広域シェアサイクル事業社会実験（道路局事業）

横浜市自転車活用推進計画の「いかす」施策に基づき、公共交通の機能補完等を目的とした横浜市内広域でのシェアサイクル事業の社会実験（令和4年6月10日～令和7年3月31日）を民間事業者と協働で実施しています。神奈川区は先行的に事業を展開する重点展開区として位置づけられています。

⑥ 菅田の丘小学校及び二谷小学校の建替え（教育委員会事務局事業）

菅田の丘小学校は令和3年4月に、旧池上小学校と旧菅田小学校の統合校として開校しています。菅田の丘小学校の新校舎は旧池上小学校の敷地に令和4～5年度に整備を行い、令和6年度以降、新校舎に移転する計画としています。なお、校地整備については、令和6年度を予定しています。

二谷小学校については、最も古い校舎が目標耐用年数の築70年に迫っているため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、建替えを検討しています。検討にあたっては、近隣の斎藤分小学校が小規模校であるため、学校統合の検討を学校規模適正化等検討部会において進めています。

⑦ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）

災害時救急病院等の医療拠点等に通じる下水道管きょの耐震化を進めています。令和5年度は、横浜はじめ病院、古川病院、紫雲会横浜病院などの下水道管きょ耐震化を予定しています。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、全市域を対象とした調査結果等に基づき、老朽化の進行度や発見した不具合の内容に応じて計画的に、下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。令和5年度は三ツ沢東町、松ヶ丘、旭ヶ丘、松本町などで工事を予定しています。

⑧ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和5年度は羽沢長谷第三公園で実施を予定しています。

また、老朽化した施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。令和5年度は片倉うさぎ山公園、大口西公園などで実施を予定しています。

⑨ 道路維持修繕事業（道路局区配）

西神奈川二丁目（主要地方道横浜上麻生線）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図ります。

⑩ 道路改良事業（道路局区配）

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について、関係地権者と用地交渉を進め、早期取得、早期完成を目指します。

⑪ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）

道路特定事業計画に基づき整備を進めています。引き続きバリアフリー化に向けた整備を行うとともに、損傷した誘導ブロックの補修工事を行います。

⑫ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

学校統合に伴う通学安全対策として、交差点等の道路拡幅及び歩道設置を進め、令和5年度中の完成を目指します。

Ⅱ 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 24,610千円

(4年度26,746千円)

- 4 かながわ子育てかめっ子支援事業 重点
- 5 かながわ安心子育て支援事業 重点
- 6 介護予防・高齢者支援事業 重点
- 7 市立保育所地域交流事業
- 8 保育所・放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業
- 9 地域活動支援事業
- 10 ふれあい活動支援事業
- 11 かながわ健康づくり応援事業
- 12 民生委員・児童委員活動支援事業
- 13 障害者支援事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑬ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）
- ⑭ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）
- ⑮ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ⑯ DV対策事業（こども青少年局区配）
- ⑰ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局区配）
- ⑱ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）
- ⑲ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）
- ⑳ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）
- ㉑ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）
- ㉒ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）
- ㉓ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ㉔ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）
- ㉕ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）
- ㉖ 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）
- ㉗ 自殺対策事業（健康福祉局区配）

4 かながわ子育てかめっ子支援事業 3,746 千円（4年度4,742千円） ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行います。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動を支援します。

(1) 土曜日両親教室

両親向けの「2人で子育て講座」を土曜日に毎月開催（年12回）

(2) 赤ちゃんふれあい学級

区内小学校の児童を対象に、命の誕生や大切さを学ぶ講座を実施（年2校程度）

(3) 養育ネットワーク事業

0歳児とその養育者を対象に地域育児教室を実施（区内14か所 各会場年10回）

(4) すくすくかめっ子事業

地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、担い手同士の交流（47会場）

(5) 子育て情報提供事業

子育て世帯に必要な情報を提供します。

ア 子育て応援マップ（13,000部）

イ 誤飲予防啓発うちわ（1,800部）



親子のたまり場「すくすくかめっ子」



誤飲予防啓発うちわ

⑬ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、まちの子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めています。

参考：令和4年4月～令和4年11月の実績 訪問員58人、訪問件数 1,179件

⑭ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）

未就学児とその保護者および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かなーちえ」（NPO法人 親がめが運営）があります。

参考：令和4年4月～令和4年11月の実績 利用者数 延べ26,438人

5 かながわ安心子育て支援事業 2,963 千円（4年度 2,641 千円） ☆重点事業

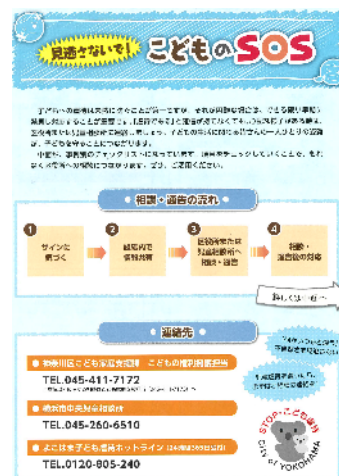
こども家庭支援課

地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止します。育児に不安を抱える養育者等に対し、アウトリーチ型の支援を強化し、個別の訪問や面接の対応を充実させ、孤立化の防止や虐待の予防につなげます。また、職員一人一人のソーシャルワークを向上させ複雑化していく事例への対応力を強化します。

(1) 児童虐待防止対策事業【拡充】

虐待リスクのある対象者への支援（訪問回数の増）

- ア 第1子を対象とした新生児訪問に加え、不安の強い第2子以降への電話、家庭訪問等を実施
- イ 乳幼児健康診査の未受診者に対して電話、訪問等を丁寧に行い支援



“見逃さないで！こどものSOS”パンフレット

(2) ファミリーサポート事業

不適切養育のおそれのある児童の養育者に対し、個別カウンセリングを行うことで保護者の育児不安を解消し、児童虐待を予防（月1回）

(3) ひとり親家庭相談支援事業【拡充】

ひとり親世帯を対象に、経済的な困窮や子どもの教育など家庭全般の悩みを受け止める相談支援を実施（相談日数の増）

(4) 虐待・DV対応に関わる対応力強化【拡充】

複雑で重篤な児童虐待事例やDV事例の増加に対応するため、スーパーバイザーを招き、専門職が対応に苦慮している事例の検討会や個別相談等を実施します。

- ア DV事例のスーパーバイズ（年3回）
- イ 虐待事例のスーパーバイズ（年1回）
- ウ DV・虐待事例の法律相談（年6回）

⑮ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めます。

⑯ DV対策事業（こども青少年局区配）

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行います。

⑰ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局区配）

養育環境に課題がある子どもを対象に食事、歯磨き、掃除などの生活習慣の習得及び学習支援を実施します。

6 介護予防・高齢者支援事業 3,720千円（4年度 4,133千円） ☆重点事業

高齢・障害支援課

新型コロナウイルス感染症等の影響により、高齢者のフレイルが課題となっています。「神奈川区フレイル予防アクションマップ」や「体にいいこと手帳」などにより、引き続き介護予防の普及啓発を行います。また、認知症高齢者を支援する施策に取り組みます。地域ケアプラザと協働し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。

(1) 介護予防普及啓発事業

市民意識の醸成やセルフケアの促進、フレイル予防推進のための環境（地域）づくりを進めていきます。健康への関心を高め、介護予防を自分事として捉えられるよう支援します。

ア 健康行動の「継続」につながる意識づけの取組

(ア) 神奈川区フレイル予防アクションマップを配布し、フレイル予防の理解促進、フレイルの特徴（可逆性、多面性等）を踏まえた知識や取組の情報提供を行い、行動変容を促します。

(イ) 介護予防出張講座や元気づくりステーション、地域サロンなどの地域活動への参加者を増やし、さらに参加者の健康行動の「継続」を促進します。

イ 体力測定 de 健康アップ講座の開催及び体にいいこと手帳の配布

ウ 健康アップ協力隊への継続した支援

(ア) スキルアップ研修会の実施（5月、6月）

(イ) かめ亀手ぬぐいサイズ（神奈川区オリジナル介護予防体操）の普及、活用

(ウ) 神奈川区版シニア通信の発行（2月）



神奈川区フレイル予防アクションマップ

(2) 認知症高齢者支援事業

認知症になっても安心して暮らせるよう、地域の人材育成や認知症についての普及啓発を進めます。

ア 認知症への理解を促進するVR体験会の実施、広報印刷物の発行（11月）

イ 神奈川区認知症高齢者みまもり協力店の普及展開

(ア) みまもり協力店の登録（随時）

(イ) みまもり協力店スキルアップの取組、キャラバン・メイト交流会（11月）

ウ 高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配布（随時）

エ キャラバン・メイト事務局会議の実施



みまもり協力店シール

(3) 地域包括ケア推進事業

横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた神奈川区アクションプランを推進するため、重点テーマである「見守り」の体制強化に向けた取組を推進します。

ア 見守り体制強化に向けた連絡会と会議の開催

(ア) 地域ケア会議連絡会（8月）

(イ) モデル地区包括的地域ケア会議（2回）

イ 医療と介護の連携

専門職を対象とした看取り期のVRを活用した研修会（9月）

⑱ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）

・地域包括ケア推進事業（健康福祉局事業）

地域包括ケアシステム構築に向け、区レベル地域ケア会議の開催等を通じて推進します。

・生活支援体制整備事業（健康福祉局事業）

区社会福祉協議会と地域ケアプラザ等に配置した「生活支援コーディネーター」を中心に、高齢者の生活支援、介護予防・社会参加が充実した地域づくりに向け、支援します。

・介護予防・生活支援サービス事業（健康福祉局事業）

平成26年の介護保険制度改正の一環として、全国一律だった予防給付（訪問介護・通所介護）を、市町村が地域の実情に応じて多様なサービスとして充実させる事業です。従来要件を緩和した訪問型サービスや、一定の基準を満たす住民主体の活動に補助金を交付して新たなサービスに位置付けるものなどがあります。

・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）

横浜市医療局・区役所が医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か所「在宅医療連携拠点」が設置されています。

・在宅医療推進のための人材育成（医療局事業）

ACPの概念を正しく理解し、適切に市民の方に伝えられる人材を育成するなど在宅の医療・介護が円滑に行えるよう、専門職の人材育成の研修を行います。

⑲ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）

・元気づくりステーション事業

介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグループ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支援をします。（区内24か所）

*内容：体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など

・地域介護予防活動支援事業

地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワーク構築を目指すとともに、介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」などを展開します。

⑳ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

・神奈川区認知症高齢者等SOSネットワーク

認知症のある方等を事前登録することで、行方不明になった際、区役所・地域ケアプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。

・横浜市認知症高齢者等見守りシール事業（健康福祉局事業）

行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れるよう、「横浜市認知症高齢者等SOSネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣服や持ち物等に貼れるシールを配付します。シールに記載されたQRコードを発見者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぎます。

・認知症初期集中支援チーム事業（健康福祉局区配）

医療や介護サービス等につながらっていない認知症の方や疑いのある40歳以上の方を対象に、医師や保健師等の専門職で構成されたチーム員が、受診に向けた動機付けや介護サービス利用の勧奨・指導等を行います。

7 市立保育所地域交流事業 1,686 千円 (4年度 1,758 千円)

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施します。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行います。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図ります。

(1) 食育推進事業

入所児童の保護者を対象に給食試食 (200 食程度)、地域の親子を対象にランチ交流 (100 食程度) を実施

(2) 地域交流事業

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施

(3) 保育施設等情報パンフレット配布

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成し配布 (10,000 部)



(4) 保育園連携強化事業

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会 (年6回) 等を行い、保育の質の向上を図ります。

施設開放

㉑ 保育所地域子育て支援事業 (こども青少年局区配)

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やします。

㉒ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築 (こども青少年局区配)

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

㉓ 保育所待機児童対策 (こども青少年局事業)

待機児童解消に向け、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行います。

【令和5年4月開所】

・(仮称) みらいつばさ片倉町保育園 (片倉二丁目) 定員 12 人

8 保育所・放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業

753 千円（4 年度 943 千円）

こども家庭支援課

保育所・放課後キッズクラブ・放課後児童クラブのスタッフ等を対象に、様々な対応力向上を目指し、研修を実施します。

(1) 保育関連法人向け現場支援対応研修

保護者対応等に苦慮する区内保育施設の法人・施設長等を対象に、外部講師による研修を実施します。

ア 基礎編

クレームが発生した際の心構えや具体的な話し方等（6月）

イ 応用編

具体的な事例から対応のノウハウを学ぶ（8月）

(2) 放課後関連運営主体・職員等対象研修

各クラブの人材育成を図るとともに、各クラブ相互の連携と安定運営を促進し、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを実現するため、各種研修を実施します。

ア 集合研修

研修名	対象者	内容	実施時期
養育支援	職員等	児童虐待等への対応	6月
感染症対応	職員等	感染症の予防及び発生した場合の対応	11月
クレーム対応	職員、運営主体	対応に苦慮する方との関わり方	12月

イ 出前研修（3テーマ、計6クラブ程度）

研修名	対象者	内容	実施時期
安全対策、労務 経理、パソコン	職員 運営主体	施設の安全管理や災害時の対策、労務管理や 運営費の経理処理、パソコン操作等について	6月～ 11月

《放課後児童健全育成事業クラブ数（令和5年1月末現在）》

放課後キッズクラブ 18 か所、放課後児童クラブ 17 か所



研修の様子

④ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を実施します。

9 地域活動支援事業 4,593 千円（4年度 3,432 千円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行います。

(1) 自治会町内会長感謝会

- ア 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施（3月）
- イ 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施（3月）

(2) 自治会町内会活動支援事業

- ア 自治会町内会配送業務
各自治会町内会に月1回（8月、12月を除く）回覧・掲出依頼物などを配送
- イ 市有地の擁壁補修（5年度のみ実施）

(3) 自治会町内会加入促進事業

- ア 加入促進のチラシや啓発グッズを転入者セットとして配布
- イ 自治会町内会加入促進として電子申請システムを活用した支援

10 ふれあい活動支援事業 2,014 千円（4年度 2,014 千円）

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活のなかで気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援します。

(1) 全体研修会・全体会議

ふれあい活動員全員を対象とする研修会（12月）

(2) ふれあい活動支援

ふれあい活動支援補助金の交付

㊥ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげます。

《対象者数（参考：令和4年度）》

新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 1,153人

75歳以上の高齢者のみ（2人以上）世帯の高齢者 1,079人

11 かながわ健康づくり応援事業 2,263千円(4年度2,514千円)

福祉保健課

区民の健康寿命の延伸を目指し、生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域関係団体等と連携し、健康づくり活動を展開します。

(1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業(保健活動推進員、食生活等改善推進員等と協働)

ア ウォーキングイベント

- (ア) 保健活動推進員、食生活等改善推進員等と協働したウォーキング研修(1月)、ウォーキング関連イベント(3月)
- (イ) 保健活動推進員等が主催する地区におけるウォーキング開催支援(随時)



ウォーキング研修

(2) 健康づくり推進事業

ア 区庁舎内健康チェック・情報コーナー

- (ア) コーナーを活用した健康相談の実施(年9回)
- (イ) 関係機関・団体等の健康づくり活動情報の充実

イ 地域における健康づくり活動の支援

歯周病予防・オーラルフレイル*予防をテーマとした歯科出前講座の開催(年7回)

※オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態

ウ 働き・子育て世代の健康づくり

両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施(12コース)

エ 感染症予防

区民等への感染症予防に関する啓発研修の開催(年1回)



健康チェック・情報コーナー

(3) 食育普及事業

ア 保育園、小中学校等との連携による食育推進

- (ア) 栄養士、養護教諭等が各々の取組を共有する連絡会(年2回)
- (イ) 食育展(年1回)

イ 食育関連講座

- (ア) 学校等との協働による出前食育講座を実施(年2回)
- (イ) ヘルスマイト等との協働による食育の普及(年3回)
- (ウ) 3歳児健康診査での食育ミニ講座(年24回)



食育展(区庁舎1階ホール)

②6 370万市民の健康づくりの推進(健康福祉局区配)

第2期健康横浜21に基づき「食生活」「運動」「喫煙・飲酒」「歯・口腔」「休養・こころ」の5つの分野の取組のほか、企業や地域等と連携した都市型の健康づくりをすすめ、オール横浜で健康寿命の延伸を目指します。

12 民生委員・児童委員活動支援事業 939 千円（4 年度 944 千円） 福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

(1) 訪問活動の支援

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための訪問活動用物品を購入

(2) 広報・研修

ア 広報リーフレットの配布

民生委員の役割や活動内容等をPRするちらしを、区民まつり等で地域に配布

イ 新任委員研修

一斉改選後1年目の新任委員を対象に、必要な知識の習得やスキル向上のための研修を実施



13 障害者支援事業 1,933 千円（4年度 1,933 千円）

高齢・障害支援課

障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援します。

(1) 障害者地域作業所等の活動支援

ア 花のデリバリー

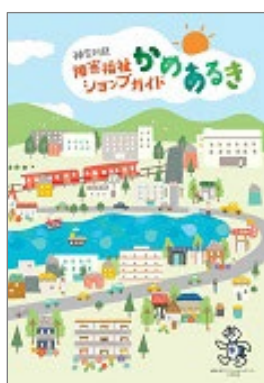
フラワーアレンジメントの配達を委託（通年 48 週）

イ 障害者地域作業所等の活動支援

(ア) 障害児者地域生活ガイドのホームページ作成【新規】（12 月）

(イ) 区民まつり（10 月）、障害者週間（12 月）等での啓発

(ウ) 自主製品紹介ガイドブックの配布



自主製品紹介ガイドブック「かめあるき」



区民まつりでの啓発

(2) 障害児者の健康づくり支援

障害特性に応じた歯科口腔ケアの動画作成【新規】（12 月）

(3) 関係機関との連携支援

精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

ア 関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会の開催（年 1 回）

イ 神奈川区内の障害児者支援の課題等に関する検討会の開催（障害者地域自立支援協議会各部会会議）

ウ 生活支援センター、基幹相談支援センター等関係機関とのケースカンファレンスの開催（随時）

(4) ひきこもり状態にある人への支援

ひきこもり状態にある人の理解と支援を考える講習会の開催（12 月）

㉗ 自殺対策事業（健康福祉局区配）

自殺対策強化月間（9 月）を中心に、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組みます。

自殺予防リーフレット配布。広報よこはま区版 9 月号、3 月号に掲載。

Ⅲ 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり 36,959 千円

(4年度 35,133 千円)

- 14 地域力アップ推進事業 重点
- 15 かながわ脱炭素化推進事業 重点
- 16 地域福祉保健活動推進・支援事業 重点
- 17 情報・魅力発信事業
- 18 まちづくり推進事業
- 19 わが町かながわ商店街魅力発信事業
- 20 神奈川区資産「わが町かながわとっておき」活用事業
- 21 神奈川区民まつり事業
- 22 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- 23 区民活動・生涯学習支援事業
- 24 動物適正飼育推進事業
- 25 花いっぱい事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑳ 地域の担い手応援事業（市民局区配）
- ㉑ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ㉒ 身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ㉓ 花苗生産配布事業（環境創造局事業）
- ㉔ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ㉕ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ㉖ 外国人材受入・共生推進事業（国際局区配）
- ㉗ 横浜市地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）
- ㉘ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

14 地域力アップ推進事業

2,879千円（4年度2,454千円）

☆重点事業

区政推進課

地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めます。

(1) 地域人材マッチング事業

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する自治会町内会を支援します。

ア 地域活動の担い手の掘り起こしを目的に、自治会町内会が実施するアンケートの検討・作成支援

イ アンケートにおいて地域活動に関心を示した住民が、自治会町内会とつながりを持つための交流会等の実施支援

(2) 地域づくり大学校支援事業

地域づくり大学校の受講生・卒業生を対象に、新たな取組への補助や様々な人や団体とのつながりづくり等を支援します。

ア かながわ地域支援補助金事業（地域づくり大学校卒業生支援コース）

イ 交流会の開催（年2回）

(3) 地域情報の発信

区内で行われている特色ある地域活動の事例を広く区民に紹介する「地域のお通信」を区ホームページやSNSで発信

(4) 区民協議会支援事業

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動に対して支援を行います。

ア 機関紙「こぶし」発行

イ 区民のつどいの開催



「地域のお通信」の発行

⑳ 地域の担い手応援事業（市民局区配）

区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施します。

15 かながわ脱炭素化推進事業 1,903 千円（4年度1,759 千円）

☆重点事業

区政推進課

区民・事業者との協働により、「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標の達成に向けて、温暖化対策に取り組みます。また、「横浜市環境管理計画」に基づき、環境課題に対応する取組を進めます。

(1) エコ活啓発事業

- ア E C Oパートナー協定に基づく横浜F Cとの協働事業の実施
(かながわ区民DAY及びE C OパートナーDAY出展)
- イ 小学生向け出前教室の開催（1～3校）
- ウ 神奈川大学との連携講座の実施【新規】

(2) 緑化推進事業

- ア 区内公共施設、私立保育所等での花と緑のカーテンの普及啓発（32 施設予定）
- イ 区役所での花と緑のカーテン設置（5月～10月）
- ウ 区民向け花と緑のカーテンの普及啓発
(花と緑のカーテン用種の配布 200人)



緑のカーテン育成の様子
(子安小学校)

(3) 地産地消推進事業

- ア 区内産野菜等の出張販売の実施（年3回）
- イ 直売所マップやレシピ集などを活用した地産地消の情報発信
- ウ 野菜の他、花きなど区内産農産物のP R

㊸ 緑化推進事業（環境創造局区配）

地球温暖化対策の一環として、区内の子どもを育む施設での緑化の推進に取り組みます。
(小学校・保育所に花と緑のカーテンを設置)
また、チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望する公立小学校に球根を配付します。

㊹ 身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）

区内で行われている農業と地産地消の魅力を発信するための啓発物等を作成します。

㊺ 花苗生産配布事業（環境創造局事業）

市内産のシクラメンを区庁舎に置き、区内で花きが生産されていることをP Rします。

16 地域福祉保健活動推進・支援事業

4,373千円（4年度4,891千円）

☆重点事業

福祉保健課

「かながわ支え愛プラン（第4期 神奈川区地域福祉保健計画）」を推進するため、計画の周知を重点的に行うとともに、活動の情報共有や毎年の振り返りなど、地域の実情に合わせた支援方法を関係機関と協働して検討していきます。

(1) 区計画の推進

ア 区計画の周知

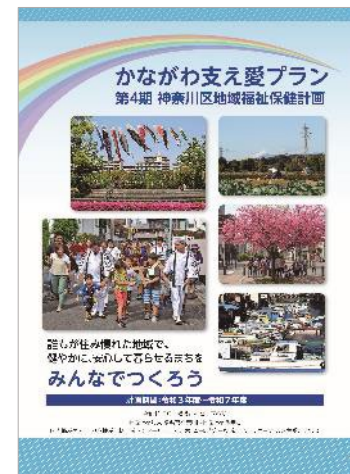
(ア) ホームページ上の特設サイトや地域情報誌において、動画、画像を活用した地域活動の広報

(イ) 区計画の概要版の更新・発行

イ 区計画の推進

(ア) 区計画の推進・進捗確認のために意見交換をする場となる「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（年3回）

(イ) 計画策定アドバイザーを活用した推進方法の検討



かながわ支え愛プラン
（第4期地域福祉保健計画）

(2) 地区別計画の推進

ア 各地区の特徴を把握するためのデータ分析

イ 地域活動を推進するための会議や研修会等へのアドバイザー派遣

ウ 地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による21地区支援

エ 各地区において、取組の達成度合いや課題を共有し、今後の進め方について話し合う地区別計画推進会議などの開催を支援（地区ごとに年2～3回）

オ 地区別計画情報交換会の開催（10月）

カ 各地区取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2月）

17 情報・魅力発信事業 4,414千円（4年度4,594千円）

区政推進課

様々な区の実践や区政情報を効果的に発信します。また、区内の様々な資源を活用し、区の魅力を創出・発信します。

(1) 各種媒体の特性を活かした情報発信

- ア ホームページ、ツイッター等、媒体の特性を活かした情報発信
- イ 職員の広報マインド・広報スキルアップ研修【新規】

(2) 区民生活マップの発行

転入者等に神奈川区内の施設等の位置や連絡先などを紹介するマップを作成・配布
(日本語版 12,000部)

(3) 区のマスコットキャラクター・区の花の活用

長年神奈川区のシンボルとして愛されてきたマスコットキャラクターや区の花を、広報やその他の場面で活用し、親しみやすさにつなげます。

- ア 「かめ太郎」の着ぐるみ貸出・イラスト(素材)の提供
- イ 区の花いっぱい事業

(ア) 区の花「チューリップ」写生画展(8月)

(イ) 区内小学校に区の花「チューリップ」の球根を配付(11月)



令和4年度チューリップ写生画展
(神奈川図書館)

(4) 歴史活用事業

- ア 旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントの実施
- イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぼ」を活用した広報
- ウ 歴史の道ガイドパネル等の更新

18 まちづくり推進事業 7,088千円（4年度6,045千円）

区政推進課

各地域の特性や課題、ニーズを把握し、魅力あるまちづくりを進め、「住みたい」「住み続けたい」まちを実現します。

(1) 企画調整・まちづくり事業【拡充】

区民の生活意識や区政に対する要望等を的確に把握し、今後の区政運営に活かしていくことを目的に、区民意識調査を実施します。また、令和4年度に実施した丘陵部における行動実態調査結果を参考とし、新たな地域での移動支援の実施に向けた検討を行います。

(2) 歩行者ネットワーク強化事業

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行います。

19 わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,809 千円(4年度 2,010 千円) 地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、コミュニティの活性化を図ります。

(1) 商店街ラリー事業

神奈川区内のお店からエントリーされた商品を紹介するとともに、店舗を巡るスタンプラリーを開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作ります。(11月～12月)



ベーカリーラリー冊子
(令和4年度商店街ラリー)

③② 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

③③ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図ります。



20 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

1,920千円（4年度2,133千円）

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」を活用し、区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みます。

(1) 神奈川区資産の活用

ア 「わが町 かながわ とっておき」を活用したイベントの開催支援等

神奈川区の魅力の発信や若い世代の地域への関心、愛着を深めるイベント開催など、地域の方々と組織する「わが町 かながわ とっておき実行委員会」が行う事業を支援します。

(ア) 専用ホームページを活用し、「散歩ガイド」やイベント情報等、神奈川区の魅力を発信

(イ) 小学生を対象として「まち自慢新聞コンテスト」を実施

(2) 「わが町 かながわ とっておき」写真コンテスト

ア 写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展

写真コンテスト「海と緑と丘のまち神奈川区」の魅力を表現する写真を小中学生、一般より募集し、入賞作品を用いた魅力発信を行います。（8月～3月）

イ 看板の維持管理

「わが町 かながわ 50選」案内看板の現況確認を実施し、必要に応じて補修を行い、適切に維持管理します。



第14回「わが町かながわとっておき」写真コンテスト（令和4年度）
【小中学生部門】最優秀作品



案内看板の一例

21 神奈川区民まつり事業 4,000千円（4年度4,000千円）

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって企画・運営する神奈川区民まつりの開催を支援します。

令和4年度の開催実績を踏まえ、反町公園での開催を目指すとともに、安全安心に配慮した開催とするため、感染症対策の徹底や環境問題への配慮（会場内でのごみの分別徹底やカーボンオフセット等）等に取り組みます。

- (1) 実行委員会や各運営部会との連絡調整
- (2) 会場等の利用支援
- (3) 開催日：秋頃
- (4) 開催内容：各種団体によるブース出店（物販、飲食販売、ゲーム、相談ブース等）、ステージプログラム、抽選会、フリーマーケット等
※感染状況を考慮し実行委員会で検討
- (5) 感染対策：検温、消毒、マスクの着用等基本的な感染症対策の実施、LINEコロナお知らせシステムを活用した連絡先把握、掲示やアナウンス等を用いた感染対策への協力を呼びかけ等
※感染状況に合わせて適切に実施



開催ポスター（令和4年度）



反町公園での開催の様子（令和4年度）



会場入口での検温、消毒の様子（令和4年度）

22 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 1,210 千円（4年度 1,110 千円）

地域振興課

「ヨコハマ 3 R 夢プラン」、特に 3 R のリデュース（発生抑制）を推進するため、食品ロスの削減、プラごみ削減等の普及・啓発を実施します。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」を目指します。

(1) 地域美化活動支援事業

- ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）
- イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」（地域、学校、事業者等と協働で実施）（9月）
- ウ 区民要望の多い大口駅周辺、白楽駅周辺地区における清掃委託【拡充】
- エ 喫煙禁止地区における地域と連携した啓発（年6回）
- オ 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発



わが町かながわマナー違反一掃作戦

(2) 不法投棄防止対策事業

- ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）
- イ 地域と連携した不法投棄への対応

(3) ヨコハマ 3 R 夢啓発事業

- ア 地域まつり等での啓発
- イ 子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発
- ウ 保育園や小学校等での出前授業
- エ 広報よこはま区版・地域回覧を活用した啓発
- オ ヨコハマ 3 R 夢推進功労者の表彰（6月）
- カ フードドライブの推進
- キ リユース文庫コーナーの管理運営

文化・スポーツ・青少年育成等の区民活動や生涯学習を支援し、もって地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指します。区民活動支援センターは区域の中間支援組織として、地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みます。

(1) 生涯学級事業

地域課題に関心を持って自主的に学び取り組むきっかけをつくとともに、地域活動の中核となる区民を増やすことを目指し、「生涯学級運営委員会」の活動を支援します。

ア 生涯学級運営委員会が企画運営する区民向け連続講座（2学級）

イ 生涯学級運営委員対象のスキルアップ講座・交流会（年2回）

ウ 神奈川大学との連携講座（28ページ再掲）の受講者を対象とした生涯学級デビュー講座（秋頃）【新規】



生涯学級連続講座
「日本語ボランティアはじめての一步」

(2) 区民活動支援センター事業

地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区民による活動や生涯学習を支援します。また、区域の中間支援組織として地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みます。

ア 相談・支援等

(ア) 地域での活動に関心のある人、地域で活動している個人・団体等からの相談への対応

(イ) 助っ人バンク(人材バンク)等を活用した地域の様々な主体をつなぐコーディネートやネットワークづくり

(ウ) 活動発表の機会となる「みんなの文化祭」の開催（年数回）

イ 情報発信

(ア) 区民活動支援センター周知用チラシ等の制作【新規】

(イ) ホームページやSNS、広報よこはま区版を活用した情報発信

ウ 人材の発掘・育成・活用

(ア) 区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催（4講座）

(イ) 団体活動の充実やスキルアップ等を目的に、助っ人バンク登録者を講師とした講座を開催（年2回）

(ウ) 登録団体等対象の交流会（年2回）

エ 地域施設間連携

(ア) 地域の課題や魅力・情報の共有などを行うため施設間連携会議の開催（年2回）

(イ) 地域エリア別会議の開催、エリア内地域住民向け情報紙発行など

オ かながわ湊フェスタ支援（秋頃）

複数の活動団体からなる実行委員会が企画・運営する「かながわ湊フェスタ2023」の開催を支援します。多くの活動団体が参加することで、団体同士の連携、新たな地域人材の発掘につなげるほか、神奈川区の人やまちなど多面的な魅力を発信します。



かながわ湊フェスタ 2022

(3) 文化活動支援事業

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援します。また、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実させます。

ア 文化協会支援

- (ア) 区伝統芸能祭
民謡民舞のつどい、邦楽のつどい、舞踊のつどい（10月）
- (イ) 区民音楽祭
コーラス交歓会、アンサンブルコンサート、中学校生徒音楽会（協会共催）（8月～11月）
- (ウ) 区文化展
洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、華道、茶道の発表会（2月～3月）
- (エ) 春のコンサート（3月）
- (オ) ちいさな美術館（9月～12月）

イ 読書活動推進

- (ア) 読書に親しむきっかけとなる講演会等の開催（11月頃）
- (イ) 読書活動関係機関連絡会（年2回）

(4) スポーツ振興事業

種目別団体による自主的な活動を通じて、区民が生涯を通じてスポーツ活動を楽しみながら健康増進・体力づくりができるよう、区スポーツ協会を支援します。また、トップスポーツチームと連携した事業を実施します。

ア 区スポーツ協会支援

野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、少年野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引き

イ トップスポーツチームとの連携

神奈川区にゆかりのあるトップスポーツチームと連携しスポーツ教室等を実施（年1回）

(5) 青少年育成事業

子どもや青少年がいきいきと活動し活躍できる機会をつくるため、子ども会育成連絡協議会が行う事業や研修、青少年の自主的な活動を発表するイベント「B-SKY FES」の開催を支援します。

ア 子ども会育成連絡協議会支援

青少年向け事業や青少年育成者研修事業への支援（通年）

イ B-SKY FES 支援

青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント「B-SKY FES」の開催支援（9月）

③④ 外国人材受入・共生推進事業（国際局区配）

外国人住民や外国人住民を支援する地域活動団体等が抱える課題の解決に向け、神奈川区国際交流ラウンジを開設し、神奈川区における多文化共生を推進します。

24 動物適正飼育推進事業 186 千円（4 年度 276 千円）

生活衛生課

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行います。

(1) 犬の適正飼育啓発事業

- ア 飼い主の知識及びマナー向上のため、犬の適正飼育方法の啓発チラシやマナープレート、トイレパックを狂犬病予防注射出張会場や窓口等で配布
啓発チラシ：2,000 枚、マナープレート：200 枚、啓発用トイレパック：1,200 パック
- イ 広報よこはま区版での啓発

(2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- ア 不妊去勢手術実施の支援等
飼い主のいない猫を起因とするトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等に対し、不妊去勢手術の推進・地域猫活動に関するチラシの配布やセミナーの開催及び神奈川区猫ボランティアの派遣等
- イ 地域でのふん尿トラブルの解決支援として超音波式侵入防止器を貸出
- ウ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援
- エ 飼育管理が不適切な猫の飼い主への対応
飼い主のいない猫の増加の原因になっているため、屋内飼育や不妊去勢手術実施を指導
- オ 広報よこはま区版での啓発

③⑤ 横浜市地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫（ノラ猫）等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援します。
登録された支援対象組織には、対象とする飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をします。

③⑥ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成します。

25 花いっぱい事業 1,395千円(4年度1,550千円)

土木事務所

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作ります。

(1) 2027 国際園芸博覧会に向けた機運醸成

公園愛護会の花壇づくり等の活動を通じて、国際園芸博覧会に向けた機運醸成を行います。

ア 球根・花苗の配布、花壇の設置

(ア) 区の花(チューリップ)の球根や花苗を配布し植栽を実施します。

(イ) 公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置します。

イ 花苗の育成

公園愛護会等と協力して、花壇に植栽する花苗の育成を行います。



チューリップの植栽



堆肥置き場づくり

(2) ボランティア団体の交流の促進

土木事務所が支援する各ボランティア団体の交流を促進します。



IV 信頼される区役所づくり 11,704千円（4年度10,994千円）

26 チーム神奈川おもてなし向上事業

26 チーム神奈川おもてなし向上事業 11,704千円（4年度10,994千円） 総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策により、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指します。また、来庁者が利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺的环境整備を進めます。

(1) 人材育成等推進事業

- ア 新採用・転入者研修（4月）
- イ 職員向けスキルアップ研修

(2) 人権啓発事業

- ア 区職員向け研修
 - (ア) 責任職研修（全体：2回（6月～8月）、グループ：各2回（8月～1月））
 - (イ) 職員対象研修（年7回程度 8月～1月）
- イ 区民向け・関係団体向け講演会（年1回）

(3) 来庁者の利便性向上

- ア 庁舎周辺の清掃や、窓口及び待合スペース等の環境改善
- イ 窓口混雑状況や呼出番号をWeb上で確認できるサービスの提供
- ウ 区の様々な情報をまとめた転入者セットの配付

